

2022年7月10日

調査・研修報告書(会派個人用)

会派名：日本共産党

報告者：藤木百合子

実施場所：島根県雲南市中央学校給食センター	実施日：2022年7月7日
<p>■目的・課題・問題事項(調査・研修に先立っての思いや本市の現状など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業が基幹産業の庄原市において、学校給食で地域の農産物を多く使って、地産地消を進め、安心安全の給食と地域の活性化につなげたい。 	
<p>■参考とすべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄原市よりも人口規模の大きい雲南市が、学校給食を中心に地産地消コーディネーターを既に置き地産地消率アップに取り組まれている。(2018年32.2% → 2021年54.2%) ・地産地消率で勝負できる食材は副食費の僅か30%(金額ベース)に満たない野菜のみ。生産者との連携と、いっしょに野菜などの位入りをできるかなどがかなり細かく知り、関係性を大切にコーディネーターの役割りが大きい。まずは人材がポイント。 	
<p>■提言・その他(本市の施策等にどのように活用すべきかなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食の地産地消をすすめるには栄養教諭まかせではなく、生産者との連携が細やかには出来、起動力、応用力のある専任のコーディネーターの既に置かなくてはならない。 ・教育委員会、農業振興課、農協の連携も重用で、地産地消の一点で具体策を打っていく必要がある。 	

※ 調査・研修終了後、一週間以内に会派事務局へ提出してください。